

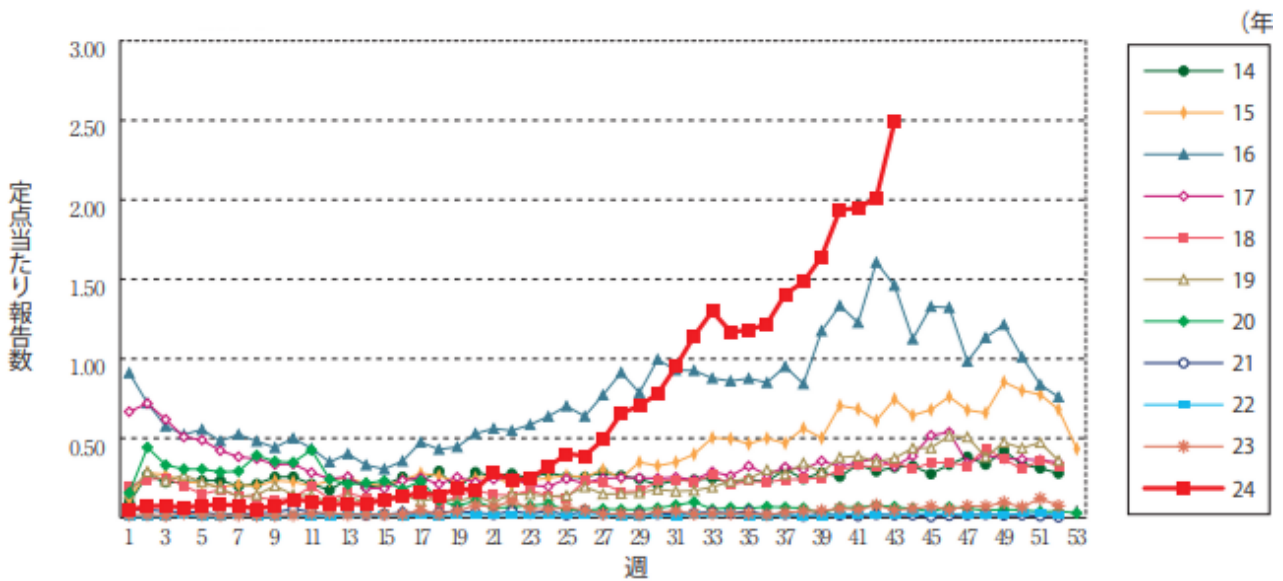
## マイコプラズマ肺炎増加に関する学会からの提言について

感染症発生動向調査において、基幹定点報告疾患であるマイコプラズマ肺炎は、全国的に定点当たり報告数が高い水準で推移を続けており、和歌山市でも同様の状況です。

今般、日本呼吸器学会、日本感染症学会、日本化学療法学会、日本環境感染学会、日本マイコプラズマ学会の5学会より合同で「マイコプラズマ感染症（マイコプラズマ肺炎）急増にあたり、その対策について」の提言が出され、マイコプラズマ肺炎に関する患者向けの啓発、説明並びに医療者向けの留意点（問診での鑑別及び検査での鑑別、専門医紹介のタイミング、疫学解説など）が示されましたのでご了承ください。

当市でも、夏休みが明けて以降、市内の保育所、幼稚園、小中学校からの欠席報告数が多い状況が続いており、今後も一定期間流行が継続することが懸念されます。診療にあたって、本提言をご活用いただきますようお願いいたします。

## ■マイコプラズマ肺炎定点当たり報告数（全国第43週時点）



マイコプラズマ肺炎増加に関する学会からの提言については和歌山市感染症情報センターホームページ内に掲載しています。

（和歌山市感染症情報センター→医療機関の方へ）

URL:[http://www.kansen-wakayama.jp/topcs/topcs31\\_a.html](http://www.kansen-wakayama.jp/topcs/topcs31_a.html)



和歌山市の5類定点把握疾患の報告数推移グラフ（第44週時点）

（和歌山市感染症情報センター→感染症発生動向調査）

URL:<http://www.kansen-wakayama.jp/2024grafu1/O44.html>

